

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>(学位授与の方針) <博士前期課程 (修士課程)> ・研究科の定める年限において学修し、必須単位を修得したうえで、修士論文の中間報告、最終審査に合格することをもって修士の学位を授与します。</p> <p><博士後期課程> ・研究科の定める年限において学修し、必要な単位数を修得したうえで、博士論文の最終審査に合格することをもって課程博士の学位を授与します。なお、研究科のカリキュラムプロセスを経ることなく提出される論文については、研究科の規定にもとづき博士論文にふさわしい専門的知見が得られているかどうかを審査し、合格することをもって論文博士の学位を授与します。</p>	<p>(教育課程編成・実施の方針) <博士前期課程 (修士課程)> ・学部での専門知識を基に、生活環境学専攻で高度な専門的カリキュラム編成を行います。 ・双方向的学修の研究を重視し、学修・研究の集大成として、修士論文の、中間報告と、最終提出をもって、その達成度を評価します。</p> <p><博士後期課程> ・修士課程での専門知識を基に、生活環境学専攻で高度で、研究者として自立するにふさわしい専門的カリキュラム編成を行います。 ・学修・研究の集大成として博士論文提出をもって、その達成度を評価します。</p>	<p>(入学者受入れ方針) 我が国が迎えつつある高齢社会、成熟社会、デジタル社会などを背景に、快適で美的な生活環境を築くための知識と知恵を生み出すことを目的に、本研究科には生活環境学専攻を設けています。ここでは次のような資質を満たす入学者を受け入れます。</p> <p><博士前期課程 (修士課程)> ・一般的ならびに専門的教養を持っている男性・女性。 ・専門分野を高度に学修・研究し、高度な専門性を要する職業等に必要能力を得たいと希望する者で、学問に対する意欲を充分にもつ者を求めます。</p> <p><博士後期課程> ・専門分野について、専門家・研究者として、意欲的かつ自立して研究活動が行える資質をもつ男性・女性を求めます。</p>